

厨房で逢いましょう (2006)

EDEN

メディア 映画
ジャンル ドラマ ロマン스
製作国 ドイツ／スイス
色彩 Color
時間 98分
初公開日 2007/08/25
公開情報 ビタース・エンド

【キャッチコピー】

私の料理は、あなたを満たす。

孤高の天才シェフが、平凡な主婦に恋をした。
「あなたに食べてほしい。ただ、それだけ」
彼の想いは料理に注がれ、その味は人々の舌と心をとろかせてゆく――。

【解説】

平凡な人妻に心奪われた恋に不器用な天才シェフが、彼女への想いを官能的な魅惑の料理に込めて伝えようとする切ない片思いの顛末を綴るホロ苦い大人のロマンティック・ストーリー。監督は、これが3作目となるドイツの新鋭ミヒャエル・ホーフマン。
料理の腕は一流だが、人付き合いが苦手な天才シェフ、グレゴア。彼が南ドイツの保養地で営む小さなレストランの看板メニューは、食通たちも唸らせる官能料理こと“エロチック・キュイジーヌ”。そんなグレゴアは、休憩時間に訪れるカフェのウェイトレス、エデンに恋していた。彼女は夫クサヴァーとダウン症の娘とこの町に暮らす平凡な主婦。ふとしたきっかけから、グレゴアがつくったプラリネを口にしたエデンは、すっかり彼の料理の虜になってしまう。いつしか彼女は、夫が家を空ける毎週火曜日に娘を連れてグレゴアの厨房を訪れるようになる。グレゴアもエデンを喜ばせようと、ますます料理の腕に磨きがかかっていくのだったが…。

【クレジット】

監督	ミヒャエル・ホーフマン	Michael Hofmann	
製作	ミヒャエル・ユングフライシュ	Michael Jungfleisch	
脚本	ミヒャエル・ホーフマン	Michael Hofmann	
撮影	ユタ・ポールマン	Jutta Pohlmann	
音楽	クリストフ・カイザー ユリアン・マース	Christoph Kaiser Julian Maas	
出演	ヨーゼフ・オステンドルフ シャルロット・ロシュ デーヴィット・シュトリーズフ マックス・リュートリンガー	Josef Ostendorf Charlotte Roche Devid Striesow Max Rudlinger	グレゴア エデン クサヴァー ルートヴィヒ